

教育長二期目の抱負と社会教育の重点施策は

ふるさとを思い「夢ひらく」教育の実現



後迫 哲矢 議員

教育長は二期目の教育行政の責任者として、どのような抱負をもち教育振興を図っていくのか。

学校教育・

社会教育の充実

教育長

○学校教育では

- ①心豊かでたくましい「おおさきっ子」の育成
- ②基礎・基本の定着を図り新しい時代を拓く「おおさきっ子」の育成
- ③特色ある学校づくりに努める。
- ④教職員の資質の向上を図る。
- ⑤「外部評価制」を導入し、授業や学校経営の改善に努める。
- ⑥教育施設の整備、教

育環境の改善に努める。

○社会教育では

- ①家庭教育・成人教育の充実
- ②青少年教育の充実
- ③公民館の充実
- ④芸術文化の振興
- ⑤図書館活動の充実
- ⑥生涯スポーツの推進

以上、重点施策とする。

公民館（自治公民館を含む）重点施策は

後迫議員

公民館は社会教育の中で最も大事な役割を果たす教育機関である。行政は条例や規則を基に仕事が進められるが、現状はどうか。

公民館を地域づくりの

拠点として支援

教育長

公民館は地域の人々の最も身近な学習の場、交流の場として地域社会づくりのため必要な教育機関である。今後、公民分

館や自治公民館の自主的な活動を支援し、「町づくりや村づくり」の活性化促進に努める。

図書館運営と読書活動の充実策は

後迫議員

図書館は住民の自主的な学習の場として極めて重要な施設である。図書館建設当初は、献本、献金運動も積極的に進められていたが、近年図書基金も取崩されている。現在の運営状況や献金献本運動をすすめる方策はどうか。

自主的な善意に期待

教育長

図書館は、住民の教養や学習を支援する中核施設である。献本は昨年度484冊の貴重な本を提供していただいている。今後献金・献本運動も考慮しつつ自主的な善意に期待する。

図書選定の方策は

後迫議員

図書館運営の重要なポイントには図書選定にもある。特色ある図書館にするため、図書選定の方法を考慮すべきではないか。

図書利用者の意欲を喚起できるよう配慮

教育長

貴重な財源で購入する図書であり、選定方法や購入については、利用者や職員と検討を重ね十分配慮する。

社会教育団体の

育成方策は

後迫議員

少子高齢化によって、それぞれで構成する団体の活動に変化を生じている。現在の町の実態を考慮した各種団体の育成策はどうか。

指導者の育成と

研修会への参加促進

教育長

社会教育団体は現在7団体あり、自主的な活動を支援するため総額で315万円助成している。社会教育団体の活動には指導者やリーダーの役割が大きく、指導者並びにリーダー養成のため、各種研修会等への積極的な参加と会員の資質向上のため指導助言を行い今後も支援していく。



▶図書館を利用する児童